

医学研究に関する情報公開および 研究協力へのお願い

福井大学医学部腫瘍病理学分野では、医学系研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の医学研究を実施しています。

こうした研究では、対象となる方に関して既に存在する試料や情報、あるいは今後の情報や記録などを調査しますが、対象となる方にとって新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

このような研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

ご自身の情報や試料を研究に使用してほしくないという場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」へご照会ください。研究への参加を希望されない場合、研究期間内にご連絡いただいた時点より対象から除外いたします。なお研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。

平成 28 年 9 月 福井大学医学部腫瘍病理学分野

【研究課題名】

免疫電顕を用いた M 細胞マーカーの観察

【研究期間】

承認日～平成 30 年 3 月 31 日

【研究の意義・目的】

腸管内面を覆う吸収上皮細胞に混じて、特殊な分化を示す M 細胞が存在する。M 細胞は、大腸菌など腸管内の抗原を細胞内輸送によって粘膜固有層に存在する樹状細胞などの抗原提示細胞に受け渡し、免疫反応および免疫寛容に関与している。これまでの M 細胞に関する研究はマウスを用いたものが大部分であり、ヒト M 細胞を組織学的に同定することは困難であった。

最近、我々は GP2 および SpiB という 2 種類の M 細胞特異的マーカーに対するモノクローナル抗体の作製に成功した。これらの抗体を用いた免疫電子顕微鏡的観察により、M 細胞におけるこれらのマーカーの細胞内局在を明らかにし、M 細胞のさらなる理解に繋げたい。

【研究の内容】

1. 研究の対象となる方

福井大学医学部第一外科で右半結腸切除術の手術を受けた方のうち、病変が回盲部から十分に離れていた方

2. 研究に用いる試料・情報

病変から十分離れた正常回盲部から採取された 5 x 5 mm 大の組織片

3. 研究の方法

得られた組織片をグルタルアルデヒドで固定後、GP2 および SpiB 抗体で免疫染色を行い、ラベルされたコロイド金粒子の細胞内局在を透過型電子顕微鏡で観察する。

【研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手・閲覧方法】

本研究では、研究計画書及び研究の方法に関する資料に関しては、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限り入手又は閲覧が可能です。その入手・閲覧をご希望される際には下記「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。

【個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先】

本研究で利用する試料・情報からは、お名前、住所など、直接ご本人を同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や雑誌等で発表されますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。取り扱う情報は厳密に管理し、漏洩することはありません。なお、保有個人情報の利用目的等に関して、詳細をお知りになりたい場合は下記「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。

【個人情報の開示等に関する手続き】

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

《福井大学における個人情報保護について》

http://www.u-fukui.ac.jp/cont_about/corporate/privacy/

【研究責任者】

福井大学医学部腫瘍病理学分野
教授・小林基弘

【本研究に関する問い合わせ窓口など】

○問い合わせ窓口

〒910-1193

福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

福井大学医学部腫瘍病理学分野

小林基弘

電話：0776-61-8319

FAX：0776-61-8103

E-mail：motokoba@u-fukui.ac.jp

○ご意見・苦情窓口

〒910-1193

福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

福井大学医学部附属病院医学研究支援センター

電話：0776-61-8529

受付時間：平日 8：30～17：15（年末年始、祝・祭日除く）